

第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（案）

市民意見公募手続き（パブリックコメント）の結果

件 名	第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（案）		
募集期間	令和6年1月16日（火）～ 令和6年1月30日（火）		
意見の提出	5件（2名）		
意見の取扱い	修正	案を修正するもの	件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	件
	参考	案には反映できないが今後の参考とするもの	3件
	その他	案には反映できないが意見として伺ったもの	2件

No.	該当 ページ	意見の概要	対応
1		認知症について 自分自身が認知症について一番強く認識したのが、75歳の運転免許更新のための認知機能検査等の時です。 この検査の時に、認知症とは何なのか、認知症の心配が出たときにどうしたらいいか等、簡単でもいいので講義みたいなものを取り入れることを検討してもいいのではないか。例えば検査の結果を待っている時間でもいいと思う。講師は、複数人の「交通安全協会」のボランティアが、例えば認知症キャラバンメイト等の教育を受けていただき、交代で講義をしてもらうことなどはいかがでしょうか。	<u>意見の取扱い：【参考】</u> 認知症について正しく知っていただくことは非常に重要と考えています。 免許更新時は、認知症について知っていただく良い機会だと思います。キャラバンメイトを派遣してお話を聞いていただく他、待ち時間に読んでいただけるパンフレット等の作成を検討したいと思います。
2	P9	5. 高齢者に関する市民アンケート調査 調査票に「市独自の設問を追加」とあるがどの部分か？	<u>意見の取扱い：【その他】</u> 市独自の設問につきましては次のとおりとなっております。 ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 問2(10)(11), 問3(6), 問5(2)(3), 問7(7)～(12), 問8(3)～(6), 問9(1)～(6), 問10(1)(2), 問11(1)～(3) 計28問 ・在宅介護実態調査 問6, 問16-⑤, 問17, 問26～問32 計10問
3	P15	7. 在宅介護実態考査の結果 テーマ2 介護者の就労継続 これから1～2年の間に「ビジネスケアラー」という言葉で最も注目されるテーマと思います。 印西市独自の対応を第9期に間に合うならば打ち出していきたい。	<u>意見の取扱い：【参考】</u> 「ビジネスケアラー」につきましては、経済産業省において検討会が設置され、国による支援策のあり方やガイドラインの策定に関する議論が進められています。 現段階で、高齢者福祉計画に市独自の施策を追加することは考えておりませんが、頂いたご意見につきましては、関係他課とも共有し、今後の参考にさせていただきます。
4	P18	テーマ5 介護保険サービス未利用の理由 「家族がケアを休む必要性」60歳以上の国民性？と思いますが、50代以下から徐々に変わってくると思います。	<u>意見の取扱い：【参考】</u> 市民の意識変化にも対応しながら、高齢者福祉施策を進めて参りたいと考えております。頂いたご意見につきましては、関係他課とも共有し、今後の参考にさせていただきます。

5	P40	認知症カフェの「専門職」とは具体的にどんな職種なのか？精神科医なのか、作業療法士や言語聴覚士なのか、精神保健福祉士や公認心理士なのか、具体的に知りたい。また、そもそも、市役所に前掲したこれらの認知症の専門職は職員として在籍しているのか？	<u>意見の取扱い：【その他】</u> 認知症カフェに参加される専門職につきましては、地域包括支援センターに配置されている３職種（保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員）やケアマネージャー（介護支援専門員）をはじめ、介護・福祉・医療等に関する様々な専門職がその時々により、参加されています。また、ご質問の精神科医等の専門職につきましては、市の職員として在籍しておりません。
---	-----	---	--